全経簿記１級（会計）合格への戦略（改訂 2010.6.23）

試験時間　9：00～10：30（会計）　10：40～12：10（工業）

	配点	最低目標	
第１問	20 点	14 点	カード学習でひたすら覚える
第２問	24 点	16 点	初出の問題は後回し
第３問	10-12 点	あわせて 16 点	難問もあるがパターン化可能
第４問	10-12 点		比較的簡単な問題多い
第５問	32-36 点	24 点	仕訳を間違えなければ 80%は可能

第２問（仕訳対策）

受託販売の考え方

151 回（154 回も同様）

本日の処理で
現金が 340,000 円増加
T/B 残の受託販売 a/c10,000 円（借方残）を消去
自社の収益を計上　受取手数料 34,000
296,000 円を当座より支払い

これを仕訳にすると

現金　340,000　／受託販売　　10,000
　　／受取手数料　34,000
　　／当座預金　296,000

★151 回は受託販売 a/c は相殺、154 回は相殺していない。どちらでも良い

155 回・158 回　受託買付は簡単(受託買付は債権債務をすべて受託買付 a/c で処理)
受託品と付随費用を受託買付勘定で処理し貸方は問題文の指示で対応

152 回の委託買付は普通の仕入処理と同様（付随費用は当然最終的に仕入に入る）

社債の償却原価の処理

154 回　2 年経過直後・・・2 年分の償却は終わっていると考える
25,000,000 円の社債と考えて処理

154 回の１　現金実査等は未処理と書いてれば処理する仕訳を回答に書くだけ
未渡小切手の修正、期限到来の社債利札の処理を行うだけ

152-4 高額買取の論点（藤真裕美の WEB 解説あり）

簿価が 800,000 円の車を、時価 500,000 で下取りしたら 300,000 円の売却損
でも、800,000 円で下取ってくれた
差額の 300,000 円は新車の価格を値引きにしたと考える（3,600,000⇒3,300,000）
小切手は 2,800,000 円

この内容を仕訳にすれば良い

減価償却累計額 2,400,000／車両 3,200,000　　売却したのでセットで０にする
固定資産売却損　300,000
車両　3,300,000　　／当座預金 2,800,000

155 回の減資の問題は難しいので捨ててもいい（でも対応できるケースもある）
　4,600 円×2,500 円の自社株（資本金）を 1,000,000 円で買った
　差額は科目をみれば何とかなる
　（自己株式処分差益＝資本金減少差益）⇒その他資本剰余金に入り配当財源になる
　　自己株式の購入が株主の為になるというのは、こういうケースもあるのです。

156 回の手形貸付金は日商簿記 3 級の論点です。間違えないように。

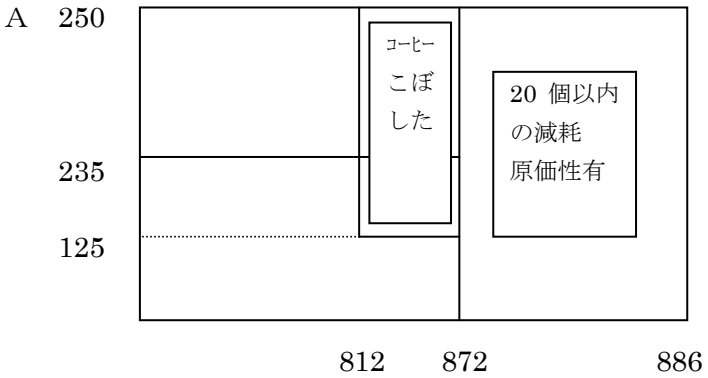
158 回の売買目的有価証券　売却時の手数料は支払手数料または有価証券売却損益に含める
仕訳の手順は
　平均単価算出⇒貸方に平均単価×売却株数⇒借方に入金額⇒差額で売却損益

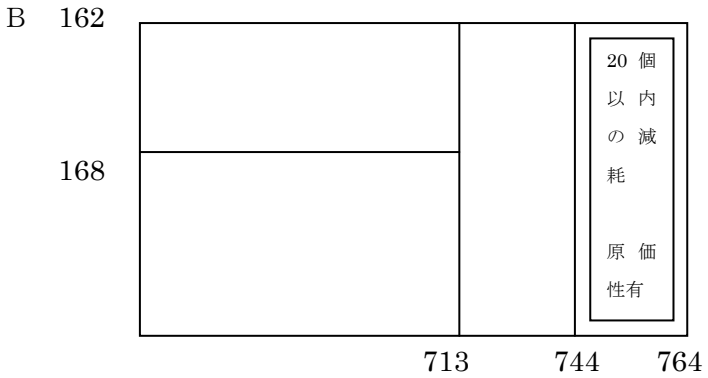
第 3 問対策

実地棚卸の考え方

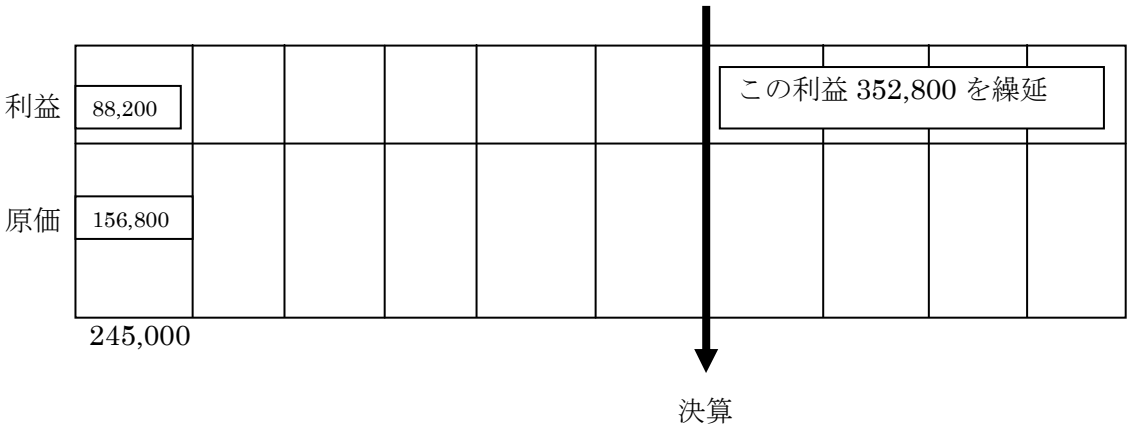
		売上原価の内訳	販売費	営業外費用	特別損失
棚卸減耗費	原価性有	○	○	－	－
	原価性無	－	－	○	○
商品低下評価損		○	－	－	△

臨時かつ多額





割賦販売の考え方



ＢＳ（抜粋）

売掛金 980,000	売上 2,450,000

未実現利益は控除しなければならない

割賦売上利益控除／繰延割賦売上利益

⇩期首再振替

繰延割賦売上利益／割賦売上利益戻入

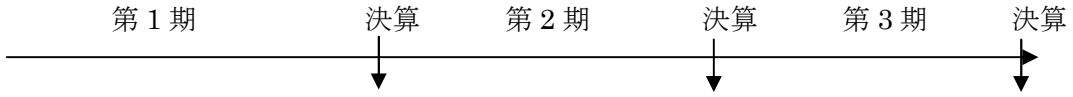
＜質問＞
この商品の利益率は？

352,800 円（繰延利益）の別の求め方は？

これを理解してから 157 回の第 3 回をしてみよう

工事進行基準の考え方

あなたが起業して 3,000 万円の住宅の受注をえて 3 年間で、原価 1,500 万の予定で着工



原価実績 300 万
（次期以降見込 1,200 万）

原価実績 500 万
（次期以降見込 800 万）

進捗率　20%
300／1,500

進捗率　50%
300+500／300＋500＋800
分母も改訂

完成工事高

600 万
（3,000 万×20%）
請負額×進捗率

完成工事高

（3,000 万×50%）－600 万円＝900 万円
請負額×進捗率－既売上計上額

この考え方で 154 回の第 3 問を解いてみよう

①元々は現金主義だった→信用取引の進歩で、価値の増減とＰＬが一致しなくなった
②価値が発生した時にＰＬに計上しよう→費用はＯＫ、でも収益は　作っている途中だから価値あがったので売上はおかしいのでは？
③収益に関しては発生した価値が明確かつ客観的になった時点で収益を認識しよう。これを実現主義という
工事進行基準は実現主義の例外

第４問対策

外貨換算の考え方

取得原価・・・・・　　ＨＣ（ヒストリカル・コスト）
時価　　・・・・・　　ＣＣ（カレント・コスト）

取引発生日レート・　　ＨＲ（ヒストリカル・レート）
決算日レート・・・　　ＣＲ（カレント・レート）
期中平均レート・・　　ＡＲ（アベレージ・レート）

為替差損益の計上方法

決算日

輸入日 20,000＄：120 円　　114 円　　決済日 116
買掛金 2,400,000 円

買掛金 120,000/為替差益 120,000

買掛金 2,280,000／当座預金 2,320,000
為替差損 40,000

換算ルール
貨幣項目（預金・売掛金・買掛金・受取手形・支払手形・未払費用など）はＣＲ換算

非貨幣項目（棚卸資産・前払金・前受金・固定資産）はＨＲのまま（換算しない）

152 回第４問

18.11.3	12.20	12.31（決算）
45,000＄掛売 @118	15,000＄回収（残 30,000＄） @114	@115
売掛金 5,310,000 ／売上高 5,310,000	現金 1,710,000 為替差損 60,000 ／売掛金 1,770,000	為替差損 90,000 ／売掛金 90,000

結果として決算日の売掛金残は
30,000＄×CR@115＝3,450,000 となる